

台湾新聞

TAIWAN NEWS

2011年5月号 月刊 東京発行 NO.151

台湾新聞はtwitterを始めました
@taiwannp をtweet!

台湾新聞 検索

Web: <http://taiwannews.jp/>
E-Mail: info@taiwannews.jp

発行先: (有)台湾新聞社 〒171-0021 東京都豊島区西池袋3-31-5 TEL:03-3987-6379 FAX:03-3590-5798 <http://www.taiwannews.jp> e-mail:info@taiwannews.jp
◎郵便振替:00140-4-594168 ◎みずほ銀行 池袋西口支店 普通1093569 口座名:有限会社台湾新聞社 定価¥300円(税込) 定期購読(12回) ¥3,000円(税込)

世界一の義捐金贈呈式

東日本大震災での台湾からの官民併せた義援金の総額は、2011年4月20日時点で144億円を超えた。これは世界一の金額と言わなければならない。人口2300万人の台湾の人たちの、一人当たりの義援金としても、世界一の額となる。その義援金のうち、3億7千万台湾ドルの義捐金の贈呈式が、4月21日日本政府の實質的な台湾の政府との外交窓口である財団法人交流協会で行われた。

今回の大震災での犠牲者への出席者全員での黙祷が終わった後、最初に「お礼」の言葉を述べたのは、財団法人・交流協会会長の服部禮次郎氏。服部氏は今回日本を訪れた日本訪問団の団長である台湾の国会となる「立法院」の院長・王金平氏と随員の13人の方々に礼を述べ、これまでの台湾と日本の深く長い、そして暖かなつながりがこの後も続くように、と結んだ。

今回の台湾からの日本訪問団は、王金平氏をはじめ、以下の方々となる。まさに「オール台湾」と言える、台湾を代表する政財界の「大物」ばかりだ。王金平氏は、その話の中で、台湾の政府は日本の関東、北海道などを「渡航禁止」区域から外すことを、本日付けで決定し台湾の人たちに伝えたとのこと。また、近いうちに台湾から政界、財界のトップが日本の観光に大挙して訪れ、台湾から日本への観光が問題ないことをアピールする、ということも話した。

贈呈式の主な出席者は以下の通り。

義捐金贈呈式出席者:

- 台湾側
 - 王金平・立法院長
 - 許水徳・王金平立法院長訪問団高級顧問
 - 江丙坤・海峡交流基金会董事長
 - 尹啓銘・行政院政務委員
 - 馮寄台・駐日台北經濟文化代表処代表
 - 李鴻鈞・立法委員
 - 羅坤燦・駐日台北經濟文化代表処副代表
 - 陳調和・駐日台北經濟文化代表処副代表
 - 陳長文・中興國赤十字總會會長
 - 杜明翰・台北世界展望會會長
 - 黃茂雄・東元集團會長
 - 林蒼生・統一集團總裁
 - 許勝雄・金仁寶集團董事長
 - 謝景貴・中華民國佛教慈濟慈善基金會宗教處主任
- 日本側
 - 服部禮次郎・交流協会会長
 - 近衛忠輝・日本赤十字社社長、国際赤十字・赤新月社連盟会長
 - 島中 篤・交流協会理事
 - 井上 孝・交流協会専務理事



王金平氏から服部禮次郎氏に義捐金の目録が手渡された

また、王金平氏ら一行は交流協会での贈呈式の後、ホテルオークラで行われた日華議員懇談会の主催する、歓迎とお礼の会に出席。日華議員懇談会・会長の衆議院議員・平沼赳夫氏から、歓迎とお礼の言葉が王金平氏をはじめとした今回の来日メンバーに贈られた。会場には超党派で組織されている日華議員懇談会の他、民主党の親台議員で作られている日台安保研究会の議員も参加。さらに、会の途中からは、元日本国総理大臣・麻生太郎氏も駆けつけ、会場は国会議員とマスコミのつぼとなったかのようだった。

さらに、午後2時からは、王金平氏ら一行は、前日本国総理大臣・民主党の鳩山由紀夫氏ら民主党議員との懇談会に出席。会場には、先日三選を果たした北海道知事・高橋はるみ氏も訪れ、鳩山由紀夫氏の台湾の人たちと政府への熱い友情が語られ、王金平氏もそれにこたえた。



王金平氏と麻生太郎元総理大臣を囲んで(日華議員懇談会パーティ会場にて)

TOPIC

日本語版	
●馬總統訪問/東京大阪華僑總會	6面
●チャイナエアライン関西-NY便就航	6面
中国語版	
●華航大阪-紐約首航記念	2面
●王金平院長率團來日	5面
●前中華聯合總會會長盧德薫先生專訪	9面

生命建築 With Infinite Value
Masterpiece OF life 雋永價值
龍巖人本安藤忠雄
Lungyen Tadano/Ando

世紀建築鉅作
安藤忠雄

世界第一、更是世界唯一櫻花園不動産
『擁有價 888 萬』

新時代不動産配置觀
參考HP:www.youtube.com/watch?v=hLve_XvqK2s

聯絡先: dragon@taiwannews.jp
張小姐: 090-9988-2387
陳小姐: 03-3988-8988
劉先生: 886+972-278-331

4月28日、チャイナエアラインの台北-東京-ニューヨーク便が就航した。(6面)

台北-大阪-ニューヨーク線 定期便就航

旬のフレッシュギフト

ドラゴンライチ (玉荷包) 冷蔵便
受注期間...5月1日~5月31日
配送期間...5月下旬~6月上旬
高雄果産、平生産ライチの最高級品種です。粒が大きく種が小さいので、可食部が多く、糖度は15度以上です。光熱した時の皮は赤緑色のものが特徴です。どうぞお試しください!
約3kg ¥5,000 (送料込・税込)

ライチ (黒葉) 冷蔵便
受注期間...5月1日~6月15日
配送期間...6月下旬
台中、南投果産。皮は鮮やかな赤色、プリプリとしたジューシーな食感で、とても人気があります。新鮮なライチは現地で特定の時期しか収穫できないので、是非お召し上がりください!
約3kg ¥4,000 (送料込・税込)

もちもちライチ 冷蔵便
受注期間...5月1日~6月15日
配送期間...6月下旬~7月上旬
台中果産。晩生種ライチの最高級品種です。糖度が高く種が小さい、もちもちとした食感が一度食べたらやみつきになります。生産量はまだまだ少ないので、現地でもなかなか食べられない珍しいライチです。
約3kg ¥5,000 (送料込・税込)

詳しくは台湾物産館本部、管原本店、又は YAHOO! ショッピングまで。

台湾物産館 管原店 〒151-0073 東京都渋谷区笹塚 2-14-15 ヴェルト管原ツインビル1F TEL&FAX: 03-5304-7801
台湾物産館 お台場店 〒135-0091 東京都港区台場 2-2-1 ザ・タワーズ台場 アネックスモール 1F
TEL: 03-3527-8861 FAX: 03-3527-8862
台湾物産館本部 (池袋青果株式会社) 〒170-0013 東京都豊島区東池袋 3-15-7 池袋ビル 2F TEL:03-3988-3321 FAX:03-3985-8173
URL: <http://www.taiwan-bussankan.com> Yahoo! ショッピング URL: <http://store.yahoo.co.jp/taiwanbussankan>

宅配利用で遠くからでも利用OK

パソコン処分したいんだけど・・・ どうすればいいの?

【依頼者にお得情報】
デスクトップSET
ノートPC (液晶モニター不可)
液晶モニター (液晶モニター不可)

QUORC 専用カード
どちらかプレゼント
(事前のご連絡をお願いします)

データの破壊サービス付
当社に依頼されたパソコンは全て HDD 破壊付です。
ご希望の方は、その場で破壊致します。

周辺機器・家電
壊れ・古い お引受け致します
解体→分別→再資源なので、ゴミではありません。
家電リサイクル品目 (テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコン)

【その他高価買取します】
非鉄・スクラップ・廃プラ
エアコン・銅線・給湯器、他

なんでもご相談下さい

解体の様子

<http://www.shinrikogyo.co.jp> 信利工業(株)
(日本関西台商協会 会長: 池平美香) 〒593-8312 大阪府堺市西区草部 2009 番地
tel 072-260-3688 fax 072-260-3677

台湾より135トンのミネラルウォーターが届く

台湾の自転車製造大手GIANTが被災地に1000台の自転車を提供

2011年4月7日、東京港に台湾の政府の債務委員会委員長・呉英毅氏と世界台湾商會聯合總會の総会長・盧起謙氏から東日本大震災の被災者への救援物資として、1.5リットルのペットボトルに入ったミネラルウォーター9万本・計135トンが届いた。台湾からの運搬を請け負ったのは萬海海運で、日本側の国内運送はJR東日本貨物が行う。また、日本側の受け入れ団体は一般社団法人日華協会(理事長頭山興助氏)。救援物資は通関後、東京港の向かい側にあるJR東日本貨物の鉄道貨物ターミナルに運ばれ、12日に貨物列車コンテナへの積み替え作業が行われた。



台湾の政府行政院の呉委員長から送られた救援物資の水の一部

この積み替え作業には、台北駐日経済文化代表処の趙雲華・債務部長とその秘書文君妃さんが訪れ、作業を見守った。また、通関会社のトップワンエクスプレスの鄭敏雄社長も積み込み作業の確認に訪れた。日本の事情が不安な中、台湾からの大規模な救援の手は休むことを知らない。



被災地に向けた大量の水が船々と台湾から送られてくる

彰化県・台南市が日本の被災学生を受け入れ

3月22日、台湾の国会である立法院の台日交流聯誼會/立法院厚生會の会長・李鴻鈞氏と、立法院厚生會創會・会長の?明和氏、そして前・台湾大学校長で東北大医学部博士・陳維昭氏が発起人となり、「台湾有愛、希望常駐」運動のひとつとして、彰化県、台南市、民間団体が協力し、

東日本大震災で被災した学生への半月から1か月の台湾への滞在ができるよう、100の受け入れ家庭や施設を用意する、と発表した。既に234家庭と施設(4月8日時点)が、受け入れを表明している。現在日本での受け入れ体制などを検討中だが、窓口は被災地の地方の行政機関となる予定。

南越谷健身会クリニックで「第五回・市民のための健康講座」

南越谷健身会クリニックで、2011年2月24日、第五回となる「市民のための健康講座」が開催された。会場は東武伊勢崎線新越谷駅から15分ほどのところにある「医療法人健身会・南越谷健身会クリニック」の3階の大ホール。10:30会場、11:00に講演が始まるのだが、10:30前にはすでに数十人の聴講者が集まり、11:00の講演開始時には、なんと70人以上の近隣の市民で会場はいっぱいになった。



周東寛先生はユーモアあふれるだけでなく専門的なお話を分かりやすく語る

最初に医療法人健身会の周東寛理事長が挨拶をした後、さいたま市立病院副院長の辻忠男先生が「石の話」と銘打って、胆石や膵臓結石など、からだの中のできる「石」の話を専門的でありながらわかりやすく解説。辻先生が国際学会などで発表した資料や映像なども駆使し、大変

に興味深い内容だった。辻先生は「私は医者(いしゃ)ではなく石屋(いしや)」と言われていますと、ユーモアあふれる話も交えてお話をすると、ユーモアのセンスでは人後に落ちない周東理事長と「石」と「医師」をかけて、掛け合い漫才のようなやりとりもあり、満員の

会場を沸かせた。

辻先生のお話の後には、医療法人健心会理事長で南越谷健身会クリニック院長の周東寛先生のお話が始まった。周東先生は、身体に飲酒や油、塩分の摂り過ぎなどで「ミイラ細胞」ができていて、からだがかたくなるお話をされ、普段からの「食」がいかに大切か、ストレスをいかに軽減することが大切か、ということ語った。周東先生の一般向けの講演はいつもわかりやすい。「ミイラ細胞」など、独自の分かりやすい、そして印象に残る先生の創作になるキーワードを随所に散りばめ、身体がどのような状態になっているかのイメージを作り上げ、それを講演を聞いている一般の方に確実に渡している。それが周東先生の講演である。専門用語だけではなく、こうはいかない。周東先生はいつも患者の方々を向いて診療している、ということがよくわかる。

どかな南越谷の景色の真ん中で、周東先生の講演に聞き入る方々は、その楽しくわかりやすい語り口に聞き入っていた。

2011年4月5日、台湾の自転車製造メーカー大手「GIANT」(日本法人代表取締役:李瑞發)と、GIANTグループ(本社台湾省台中県大甲鎮)が、東日本大震災の被災地で、道路状況がまだ整備されていない地区に対し、同社のマウンテンバイク「GIANT ROCK」(震災復興支援・特別仕様車)を1000台提供する、と発表した。同社の李社長によれば、自転車は福島・仙台・岩手の各県に送りたいとしている。

なお、自転車の組立て、及び配送は内外日東株式会社(代表取締役社長:木島敷)が無償で請負い、作業も同社の配送センターで行われる。1000台のうち800台を4月末頃に納入予定。残りは連休後1~2週間で提供予定。なお、現地でのパンクなどの対応のため、メンテナンスキットを自転車5台につき1セットの割合で提供予定。

南投県が日本からのロングステイを受け入れ

台湾交通部観光局は2011年4月6日、台湾中央部にある南投県埔里鎮と共同で、東日本大震災の被災者の長期滞在を受け入れる「台湾愛的ロングステイ計画」を実施すると発表。

台湾政府交通部観光局ではこれまで台北に極集中する外国からの観光客を台北以外の地域でもいかに受け入れるか、ということを考えてきた。これはその動きにもつながるものだ。

南投県は台湾のほぼ中央に位置し台湾最高峰の玉山、景勝地の日月潭(Sun Moon Lake)などで知られる自然が豊かなところ。1999年9月の大地震の震源地でもあったため、日本の今回の震災の被害に対しても、なにか援助ができないかと考え、この計画を考えた。

日本の被災者が、台湾でも有数の自然環境を持つ南投県に長期滞在すること



南投県の日月潭を臨む山上からの景色

で、落ち着いた気持ちと元気を取り戻してもらおうというコンセプトとのこと。観光局と同県の民宿などが実施する。この5月の連休から、日本の被災地の観光業界や自治体関係者20人を視察に招き、詳細を詰める予定であるとのこと。

横浜ベイスターズの台湾出身の選手王溢正さんと陳冠宇さんが街頭募金

横浜ベイスターズの台湾出身の選手、王溢正さんと陳冠宇さんが、4月3日、横浜中華街の街頭に立ち、3月11日に日本を襲った東関東大震災の被災者への街頭募金を行った。台湾で起きた9.21大地震のときは、日本から台湾に対して多大な援助があったこともあり、台湾からの今回の援助は非常に手厚いものとなっている。また、チャリティには横浜中華学院の獅子舞のチームなども参加した。債務促進委員の施梨鶴さんも、地震の直後から活発に救援活動を続けており、150個の義援金箱を横浜中華街の各店に配るなどしている。



王溢正さん(右) / 陳冠宇さん(左)

東日本大震災で被災された皆様に
 ここころよりお見舞い申し上げます。

本広告の収益の一部は日本赤十字社を通じて東日本大震災の被災者の皆様への義援金として寄付されます。

エバー航空 日本支社

総支配人
蕭 錦 隆

〒108-0074
 東京都港区高輪2丁目15番13号
 Tel: (03) 5793-3400
 予約センター: (03) 5798-2811
 URL: www.evaair.com

台北華國大飯店

總經理
廖 裕 輝

地址: 臺灣台北市林森北路600號
 台北華國大飯店網址:
 www.imperialhotel.com.tw
 東京事務所電話: 03-6666-2502

中華航空
チャイナエアライン

楊 辰
日本支社長

〒100-0011
 東京都千代田区内幸町1-2-1
 日土地内幸町ビル8F
 Tel: (03) 6378-8880

中華電信日本株式会社

社長
周 宗 部

〒105-0012
 東京都港区芝大門2-1-17
 朝川ビル5F
 Tel: 03-4590-2288

中國信託商業銀行

谷村 明政
東京支店長

〒106-6137
 東京都港区六本木6-10-1
 六本木ヒルズ森タワー37階
 Tel: (03) 5413-8168

財団法人 自由アジア協会常務理事
 日台スポーツ・文化推進協会理事長

松 本 彥 彦
MATSUMOTO AYAHIKO

〒106-0032
 事務所 東京都港区六本木3-16-13-1010
 電話: (03) (3587) 1581
 FAX: (03) (3224) 9252

YANG MING
陽明日本株式会社

社長
林 静 國

〒105-0014
 東京都港区芝2丁目28番8号
 芝2丁目ビル8階
 Tel: (03) 5440-2691
 Fax: (03) 5440-2690

ラニュージャパン

社長
劉 玠 廷

〒104-0061
 東京都中央区銀座1-8-21
 銀座清光堂ビル1階
 Tel: (03) 5159-3748

日本発の燃料高騰の可能性

原発事故の影響で、海外からの旅行者が減少している。新設された観光庁が音頭を取った「ビジット・ジャパン・キャンペーン」により、訪日外国人(ビジネス客を含む)の日本国内消費額が1兆円規模にまで拡大してきただけに経済的な打撃も大きそうだ。

観光庁のまとめによると、今年3月の訪日外国人旅行者数は35万2800人余りと推計され、前年同月比で50.3%減と半減した。3月として過去最高を記録した2008

年の73万1619人と比べると38万人弱減少したことになる。1～3月では174万6400人で同13.3%減だった。原発事故に対する警戒感、不安感が世界的に広がっており、訪日旅行者の大きな落ち込みにつながった。

また、日本から出国した旅行者も今年3月は128万2000人余りで、同18.0%減となっている。東日本大震災後の自粛ムードが大きく影響しており、回復するかどうかは5月連休の動向がカギになる。

ただし、今後の見通しについて、外国人旅行者数の減少は下げ止まったとする見方がされている。日本交通公社のまとめによるもので、テロなどと違って日本への旅行に障害になる要素は少なく、ビジネス需要を中心に回復し始めているためだ。しかし半年、1年という長期の見通しでは大きく落ち込むことは確実で、原発事故の処理が長引けばさらに下ぶれするリスクは高い。ビジネス客は回復し始めているものの、海外の大手の旅行代理店は日本への

原発事故で観光客減少、経済的打撃が大きい日本

【青田信吾】福島原発の事故の影響で電力供給が逼迫する日本。早急に電力供給を回復する作業が進んでおり、日本のエネルギー需給の変化が世界経済に与える影響は大きいものと見られるが、天然ガスや原油などエネルギー価格の上昇は、日本の需要増とは別の要因にあるようだ。とくに北アフリカ・中東地域の政治的混乱が大きく影響、そこに日本原発事故

のインパクトが加わると、価格高騰のシナリオが予想されるようだ。

日本では原発に代わって風力発電などの自然エネルギー利用が急浮上しているが、当面は天然ガスや石油を発電に利用しなければならぬ。日本エネルギー経済研究所によると、東京電力、東北電力管内で発電用石油需要の発生は2009年度実績比で年間262万～426万キロワット

トル。2011年度の想定需要に対してLNG(液化天然ガス)620万～860万トンの追加調達が必要になるなどと分析している。

発電用の石油需要は東京電力、東北電力の管内だけだが、LNGの需要増は他の電力会社でも見込まれている。福島原発の事故で他の電力会社が所有する原発に安全点検が求められるため、その間、原発を止めて不足分を火力発電所の稼働で補う必要があるからだ。こうした発電用石油、LNGとも足元の国際市場の供給余力は十分あり、電力会社がさまざまな調達手段を駆使すれば市場への影響は小さいという。

渡航予中国、香港、そして韓国からの日本への旅行者は3月で半減している状態だ。また、米国やヨーロッパでは東アジアにおける日本の位置などに認識している人は少ないため、韓国にも影響があり旅行者が減少しているという。

事故が起こった原発は東北地方の福島県の太平洋岸に位置する。放射性廃棄物の影響は福島原発を中心に南北の地域で顕著に出ているが、日本列島でいうならば京都や九州といった箱根以西の地域は西から東に流れる偏西風の効果もあり、まったく影響が出ていない。また、東北地方でも山形県や秋田県の影響がない。外国人旅行者が激減しているだけに今がチャンスで、訪れれば歓迎されるかもしれない。

原発事故による風評被害とともに心配さ

れるのは、過度な自粛ムードだ。日本人の旅行者の減少は国内消費をさらに押し下げ、景気の悪化を招くことになる。

東日本大震災で経済活動が落ち込んでいるものの、定年退職した現役リタイア組が支えてきた国内・海外の日本人旅行は景気変動に左右されることは小さい。それだけに自粛が先行すると経済に与える打撃は大きい。

政府は震災復興の資金にすることによって、料金無料化の社会実験とともに土日・休日に限って実施してきた「1000円高速」を取りやめることを決めた。低料金的高速を使って旅行者が増え、観光地やその周辺に落ちていたお金の減少も減らす。日本経済全体が落ち込むことにも懸念される。【青田信吾】

東京モーターショー開催をPR

日本自動車工業会が今年12月に予定する東京モーターショーの開催告知に躍起となっている。4月20日に開幕したニューヨークオートショーの会場でも時間を割いてPRした。原発事故による風評被害もあり、海外から日本を訪れる旅行者が減る中で、ショーの開催場所である東京ビッグサイトは東日本大震災の震源地から400km、また福島元原発から230km離れていることを強調して安心・安全であることを訴えた。



折しも中国では上海モーターショーが開催中で、東京モーターショーの開催告知へ世界の注目度はあまり高くなかったようだ。しかも震災被害の影響から日本の自動車産業が回復するのは今年後半までモーターショーにはどうにか間に合いそうなタイミングではあるのだが、どれだけの新機軸が打ち出せるのか不透明だ。かつてデトロイト(アメリカ)、フランクフルト(ドイツ)と並ぶ世界の3大モーターショーとうたわれた東京モーターショーはすっかり色あせた感がある。

折しも中国では上海モーターショーが開催中で、東京モーターショーの開催告知へ世界の注目度はあまり高くなかったようだ。しかも震災被害の影響から日本の自動車産業が回復するのは今年後半までモーターショーにはどうにか間に合いそうなタイミングではあるのだが、どれだけの新機軸が打ち出せるのか不透明だ。かつてデトロイト(アメリカ)、フランクフルト(ドイツ)と並ぶ世界の3大モーターショーとうたわれた東京モーターショーはすっかり色あせた感がある。

今回の東京モーターショーは特別招待日の12月2日(金)から11日までの9日間、自工会員メーカー14社に欧州20ブランドが出演することになったが、米ビッグスリーは出演しないし、中国メーカーも、中

洪勝信大阪中華総会会長 中華民国100年記念聖火

2011年4月27日、中華民国留日大阪中華総会の洪勝信会長がハワイで行われた慶祝建国一百年檀香山聖火首燃大会で台湾の政府・僑務委員会から授与され、持ち帰った「中華民国100年記念」の聖火を見せたいだいた。洪会長は、日本中華聯合総会の劉東光総会長らとともに孫文先生のハワイでの「革命を確信する

カーもコンパクトにまとまってしまったようだ。

自動車工業会会員14社も、現状は生産態勢の再整備に追われる。中国市場への取り組みやその先のインド市場を考えると生産配置の見直しにも迫られる。今回の大震災を契機に部品などの調達先を被災していない西日本に移すだけでなく、中国や東南アジアに移すことも進行中だ。震災被害の影響を除いても日本の国内需要の低迷は長期化が必至で、成長市場をターゲットにした戦略の立て直しが必要になるからで、日本の自動車産業そのものの空洞化が進む可能性すら出てきている。だから、東京モーターショーに海外から客を呼び込むことに必死であるのだが、今回ショーが成功するかどうかは、日本の自動車産業の将来を占う分水嶺になりそうだ。



大阪中華総会洪勝信会長

まで」の軌跡を辿った。孫文先生が幼少の折よりハワイで暮らすうち、多くの人のつながりの中から、みずから「中華の民主主義思想」を築いてきたことが、よくわかったという。孫文先生の「革命」のルーツを見る思いだったとのこと。また、聖火をいただくとき、洪里会長はまず「この時期のこのときに生まれてきた幸せに感謝すると同時に、光栄極まることで、大阪の華僑の仲間とともに大変に嬉しく思っている」と語り、その「聖火」を拝見した。LEDで光るその聖火は「現代の火」にふさわしいものだった。

第35期棋聖

張翔氏東日本大震災の被災地に1500万円を寄付

第35期棋聖就任式が2011年4月19日、東京のホテルニューオータニで開催された。二度目の棋聖の座を守ったのは、台湾出身の棋士、張翔氏。このお祝いには、台北駐日経済文化代表処の馮寄台代表と張氏の西郷の先生である林海峰氏も祝辞を述べた。

張氏は謝辞の中で今回の賞金である4千500万円のうち1/3の1千500万円を読売新聞社の財団を通して、東日本大震災の被災者への義援金とすることを発表。そ

中華民国100周年お祝い特集(9) ～辛亥革命に殉じた日本人を追悼する碑～

今回は孫文その人からは少し離れる。しかし、孫文が起した辛亥革命の話なので、あまり離れている、ということはないはずだ。そしてまた、東京を少し離れ、神奈川県横浜市鶴見区へ。目指すはJR鶴見駅のすぐ近くにある曹洞宗大本山の1つ「総持寺(そうじ)」。ここには巨大な石碑がある。石碑には「日本同志援助中国革命追念碑」とある。その横には「汪兆銘敬題」とある。中華民国成立宣言を起草し、孫文の遺書を書いた汪兆銘の書になるものなのだ。日本の大きな禅寺と中国革命はなんだか場違いにも感じるが、まさかこんなところにこんな碑が残っていると知らなかった。総持寺のWebサイトにもし、この碑があることは書かれていない。

辛亥革命には、孫文を助けたことで有名な梅屋庄吉、宮崎滔天、頭山満などの人たちの他、実際に中国に渡って革命の戦に参加した日本人も多かった。その数はおおよそ千人はいると言われている。この碑はその革命で命を落とした日本人への追悼の碑だ。

巨大な建物が並ぶ総持寺の総持寺はいつも信徒で賑わっている。全国から来る信徒たちのために大きな駐車場がある。その一角に白い鉄柵に囲まれた、ひときり目立つ追悼記念碑がある。これはJR鶴見駅として鉄道史のみならず日本の戦後史に残る有名な事故の追悼記念碑だ。そのすぐ右側の後ろのうっそうとした林の斜面の前に、大きく高いがひっそりとしたその碑は立っていた。その碑の後ろの斜面には、おそらく戦争のときに防空壕で使われ



鶴見の総持寺に残る中国革命日本人犠牲者への追悼の碑

たとおぼしきコンクリートの入り口が半分埋まっているのが見える。碑の背面にはその碑が建てられた由緒がぎっしりと書かれている。その最後には「民国三十年(1941年)」に建立されたこととある。

1937年、日中戦争が始まった。この碑の建立された前年の1940年、汪兆銘は中華民国政府内の日本との和平か否かの対立で敗れ、ベトナムに逃れた。多くの日本の同志の助けを受けながら、日本の占領下にある中国で「南京国民政府」を蒋介石らの「重慶政府」と対立するかたちで作った。この碑はその翌年(1941年)に作られたものなので、現在の台湾にある「中華民国政府」とは流れを異にする立場で作られたものとも考えることができる。当時の中華民国政府の立場からすれば、当時の日本の政府の傀儡(かいらい)とも考えられるもう一つの「中華民国」を作った汪兆銘が、その日本とのつながりを求めて建立したのも、とも言えるのかも知れない。汪兆銘は1944年に名古屋大学病院で没したが、当時の国民党政府からは「漢奸」として扱われ、死後に墓は爆破されてあばかれ、遺体はあらためて火葬にされ、その遺灰は揚子江に流れ捨てられた。なお、汪兆銘は学生時代に日本の法政大学(の前身の和仏法律学校法政大学)に留学中、孫文の革命思想に触れ中国同盟会の編集スタッフになった。孫文とはそれ以後のつきあいになる。中華民国政府の重鎮の一人だった。

これらの当時の日本と中国をめぐる複雑な歴史をあらためて見てみると、この大きな日本のお寺の片隅に隠れるように巨大な碑があるのも、またその碑があまり顧みられないのも頷ける。しかし、日本人にとって見れば、中国革命に殉じた千人以上と言われる有名・無名の日本人について、この碑を見てあらためて考えさせられることがあるのではないだろうか?

台湾の革靴「ラニュー」 黄郁如副社長は現場を重視

台湾で「健康」をキーワードとして名を知られる靴メーカー「ラニュー」は、日本市場に進出して以来、イメージを重視している。そのため広告に大きな予算をかけ富裕層をターゲットにし、五反田の高級住宅地に事務所を構えるなど高級志向を軸に付けている。しかし、今年2月に新しく就任した副社長黄郁如氏(33)は、これまでと違う戦略を提案している。黄郁如氏は今年で入社9年目。台湾の店舗で接客



スタイルよりも、カラフルで選べる色、多様な材質などにも果敢に挑戦したいとのこと。さらに顧客の声をより的確に掴むために、店舗だけではなく現在の事務所を移転することも考えているとのこと。現在、ラニューは銀座など三店舗の店長を日本人に任せているが、これも日本の顧客を重視している現れた。過去の販売の現場のトップを努めてきた経験を踏まえ現場重視を掲げる黄郁如氏にとって、解決しなければならない課題は多くあるものの、日本市場での方向性が見えつつあるのではないだろうか。なお、東日本大震災の被災を受けた日本のため、ラニューは4月1日に日本赤十字社に300万円を寄付。日本の復興にも尽力するとのことだ。

台湾で「健康」をキーワードとして名を知られる靴メーカー「ラニュー」は、日本市場に進出して以来、イメージを重視している。そのため広告に大きな予算をかけ富裕層をターゲットにし、五反田の高級住宅地に事務所を構えるなど高級志向を軸に付けている。しかし、今年2月に新しく就任した副社長黄郁如氏(33)は、これまでと違う戦略を提案している。黄郁如氏は今年で入社9年目。台湾の店舗で接客

台湾の政府から初受章

松本彥彦(あやひこ)氏に聞く

～日中国交正常化の陰で「日台の架け橋」となった日本人～

3月、日台スポーツ文化推進協会の松本彥彦・理事長に、台湾の政府外交部(外務省に該当)から、日本人で初めての外交受章が授与された。授与のセレモニーでは台北駐日経済文化代表処の馮寄台代表が松本氏に外交受章を授与した。受章は長年にわたり日台間の政治、青少年、スポーツ、学術交流の推進に大きな貢献をしてきたことに対して、ということであった。当日は、同氏が秘書を務めた海部俊樹元首相なども訪れ、台湾と日本の深い長い関係を確かめる場ともなった。また、海部氏はこの受章式の後、台湾を27年ぶりに訪問。松本氏もそれに従ったが、その最中に日本で東日本大震災が起こった。そのとき、馬英九総統からねぎらいのお電話をいただいた、ということであった。まさに思い深い日台の新しいかわりかかわりが始まるそのときに、偶然とはいえ松本氏はその場に居合わせたことになる。

本紙は4月18日、松本彥彦氏に六本木にある同氏の事務所でお話を伺った。これまで日台の政治にどのよう、どんな気持ちで関わってきたかを、淡々と語っていた。

「日台関係には欠かせない日本人、と言われる松本氏はかつて海部俊樹元首相の下で秘書を務めるなど、日本の政治の世界では多大な貢献をしてきた人としても知られる。なによりも日台のかわりかかわりでは、特に深い思い入れを台湾に持つ日本人の一人でもある。1972年、当時32歳だった松本氏。大陸中国の国連への虚々実々の攻勢で、1971年10月26日に国連で採択された「アルバニア決議」によって世界のすう勢が大陸中国へと移り、大陸中国が中華民国に代わって「常任理事国」に入った。もともと国連の常任理事とは、第二次世界大戦での戦勝国が成るものであったが「中国」に関しては、それまでは中華民国・台湾がその任を担っていた。結果として中華民国・台湾は国連から「名譽あ

る脱退」を宣言し国連の議場を後にした。

そして、翌1972年。米国のニクソン大統領が突然大陸中国を訪問。その流れに日本の政府も寄り添うかのように、同年には佐藤栄作首相の後を継いだ田中角栄元首相が大陸中国を訪問し「日中共同声明」で中華人民共和国を承認した。そのため、同年日本と台湾は国交を断絶した。そして大陸中国は日本と米国だけではなく多くの国々に中華民国・台湾との国交断絶を迫り、台湾の政府は世界から孤立させられたように見えた。

松本彥彦氏は当時の首相佐藤栄作氏の発案のもと、1967年から、小淵恵三氏らと「日華青年親善協会」を設立して、台湾と日本の青年の交流事業に邁進していた。しかし、その活動が軌道に乗りはじめたそのとき、「日台国交断絶」という試練がやってきた。日本の首相が大陸中国に向かう前に、日本の外務省がこれまでの日台関係の清算を行うべく、台湾の政府外交部に特使を派遣する必要があると、当時の中華民国政府は「そのような特使は受けられない」との態度を崩さず、なかなか話に応じなかった。そのとき、32歳の「若手」で、蒋介石元総統の子息である蔣経国氏にも知己のある松本氏だけが、当時の中華民国の指導者と話をする事ができ、この特使受け入れの要請をしたという。この話は、日台の未来を思い描いて走り続けてきた松本氏にとっても、身を引き裂かれる思いであっただろうことは想像に難くない。しかも、その役目を若干23歳の松本氏その人が日本の国のために、という名目のもと、受けなければならなかった。特使派遣は実現し、日中国交正常化が実現、ついに日華断交が確定したものの、松本氏は、その話のあった夜、一人でふとんの中で泣いたとのことだ。そして、これからの自分の人生を日本と台湾のために捧げる事を決意した、という。

松本氏は、精力的に活動してきた。



受賞のスピーチで台湾とのこれまでの関係を印象深く語る松本彥彦氏

1972年3月には台湾に渡り蔣経国氏と単独会見を行い、同時に台中国境の金門島を訪問。同年9月の「日中国交正常化」に向けて、国交正常化のその日の前日の台湾側との交渉に当たる。その後、海部俊樹氏の秘書などを経る傍ら、数々の日台双方の話し合いなどのため現在まで120回以上訪台をしている。2008年には、政権が代わった中華民国の馬英九総統の就任式にも出席している。松本氏は日台関係の表も裏も知り尽くす、というだけではなく、日本からの深い台湾への想いを代表する人でもある。それでいて、松本氏はもともとが自由民主党の党員で、その後大臣秘書官を歴任するなど政治に非常に近いところにいるにもかかわらず、本人ご自身が政治家、というわけではない。あくまで「民間」というところにしっかりと根を張り、日台双方の多くの人たちに慕われている。

「日中国交正常化」という、日本そのものにとっても、また松本氏ご自身にとっても大きな試練を経て40年。いま、台湾と中国はお互いを「兩岸」と呼び合い、ECFA

を代表とする経済協定が結ばれ、大陸にいる台湾人ビジネスマンは100万人いる。それでいて「大陸中国に飲み込まれてなくなる」と言われていた「台湾」は力強く残り、いまや台湾なくしての世界経済はありえない、という発展を遂げた。また、大陸も「台湾は中国の領土だ」と主張する一方で、「台湾」を実質的に1つの国として認めざるを得ない。その現実の上で、大陸の政府も様々な外交施策を打っていることはご承知の通りだ。そんな現状を踏まえ「これからの日本と台湾、そして中国の関係はどうあるべきか」についてお聞きした。

「昔、蒋介石総統は『以德報怨(怒みに報いるに徳を以てす。ひどいことをして怒みを持つ相手には徳でそれを返しなさい)』と言う言葉を使い、当時中華民国の支配下にあった敗戦直後に大陸や台湾にいた200万人の日本人に報復することなく、みな無血で日本に返した。そしてその後の蔣経国総統もまた、日本のみならず世界に対して『以德報怨』を言い、静かに国際連合の議場を去り、日本に対しても世界に対してもなら特別な怨恨をぶつけるようなこともしなかった。日本人はこのことをしっかりと覚えていなければいけません」ですから、日本は台湾に対しても、中国に対しても、それぞれの主権を同じように認め、既に実質的に別の国として機能している兩岸を日本の立場からそれぞれの国として扱うべきだと思います」

正しい君主のありかたや人の道を読んだ「儒教」の栄えた場所として、長い歴史を持つ中華の世界。いまは台湾にその「正統」を見ることができるといえる。40年前、小さな存在として消えてしまうと恐れ続けながら、力強くあり続けた台湾。決して眼に見えないことでありながら、なによりも台湾が大切にしてきたもの。松本彥彦氏のお話から見えた台湾とは、その小さな姿とは裏腹に「大きな意識」を持つ台湾だった。それはまた、日

本人自身をも照らしてやまない鏡のようなものでもあつたのではないか。なによりも松本氏の「台湾を向いた人生」が、それを明確に見せてくれたような気がする。

松本彥彦(まつもと・あやひこ)氏に日本人で最初の台湾の政府からの「外交受章」授与 2011年3月8日、台北駐日経済文化代表処公邸において、中華民国外交部より、「日台マラソン協会」の松本彥彦(まつもと・あやひこ)理事長に対し、長年の日本と台湾のスポーツ交流の功績を讃え、中華民国政府の外交部の外交部長「楊進添」氏より、「外交表彰状」が送られた。この「外交表彰状」は、中華民国政府から日本人に対して贈られた最初のものである。

当日は、松本氏が長年秘書を務めた日本国前総理大臣の海部俊樹氏も訪れ、松本氏の受賞を祝った。なお、海部俊樹氏は、この3月10日から12日に27年ぶりに台湾を訪れ、馬英九総統、立法院院長の王金平氏はじめ、多くの中華民国政府要人と会見する予定だ。

海部氏が27年ぶりの台湾への訪問となったのは、日中国交回復を行った田中角栄政権下からしばらくのあいだ、非公式ながら大臣には台湾への渡航を禁じていたため、という。

中華民国建国百年にあたる今年、は、昨年の安倍晋三氏の台湾への渡航、今回の松本氏の授賞などから始まった。加えて、3月11日に起きた東日本大震災では台湾から日本への官民あわせだ救援物資がおおよそ1千トン近く、義援金も日本円で144億円を超えて世界一となるなど(2011年4月20日現在)、日本と台湾の交流もいっそう盛んになっている。

盲目のピアニスト黄裕翔さんが初リサイタル

「盲目のピアニスト」というと、どんな音楽を思い浮かべるだろうか?音楽の世界では、ときどき、盲目の音楽家の話が話題になるが、「盲目」とつくだけで、どこもかよわいイメージを思い浮かべる。しかし、台湾の音楽家「黄裕翔(ホアン・ユイシアン)」さんの音楽を聞くと、そのイメージが吹っ飛ぶ。

2011年4月25日、日比谷のスタインウェイサロン・松尾ホールで、台湾出身の盲

目ピアニスト「黄裕翔」さんの日本初リサイタルが行われた。客席は50人ほどの小さなホールだが、満員の盛況となった。前半はスカルラッティ・バッハ、ショパン、ベートーベン、チャレブニンなどの新旧取り混ぜたクラシックの演奏。そして後半は、戦前の台湾の作曲家「鄭雨賢」の「四月望雨」の4曲から始まるバラエティに富んだ曲の数々。主催者のNPO法人横浜アートプロジェクトのメンバーの楽曲も披



演奏後、感想を語る黄裕翔(ホアン・ユイシアン)さん(右)

露された。また、最後は黄さんの即興演奏。いずれも会場が静まり返る、すばらしい演奏だった。会場には今回のコンサートに協力した台北駐日経済文化代表処の陳調和副代表、そして台北文化センターの林永福センター主任も訪れた。

黄さんはクラシックの現代音楽からロック、ポップス、映画音楽、ジャズに至るまでの音楽をこなし、即興演奏の名手でもある。力強いその音は、ピアノという楽器と仲良しの彼が、ピアノと戯れ遊んでいる姿を想像する。ご本人にお聞きしたところ、生活の中から自分が感じたことをそのまま表現しているとのこと。まさに音楽と一体となった黄さんの音楽。躍動、ということがよく分かる。本物の生きた音楽がそこにある。

黄裕翔(ホアン・ユイシアン):1987年、台湾・台中生まれ。国立台湾芸術大学卒業。専攻はピアノ。数々の世界的ピアノコンクールで優勝経験を持つ。クラシックだけではなくジャズ、ロック、ポップスなど多様なレパートリーを持つ。また、グループでの演奏、映画音楽など、活動の幅も非常に広い。

台湾人同窓会 ル・コルドン・ブルー東京校

ル・コルドン・ブルーといえば、料理・お菓子の世界では知らぬ人はない、名門の料理学校だ。そのル・コルドン・ブルーの東京校が代官山にある。また、同校を卒業した台湾人の学生も非常に多く、その多くが台湾に帰って、あるいは世界中の各所で活躍している。

2月28日、ル・コルドン・ブルー日本校台湾人同窓会が発足し、東京校を出た「同窓生」の台湾人13名と、東京校以外を卒業した同窓生、計13名が、東京校に集まり、親睦を深めた。

この同窓会の会長に就任したのは台湾・台中の東海大学の呉友欽博士だ。呉博士は、もともと食品関係の教授だったが、8年間勤めた大学を1年休み、ル・コルドン・ブルー東京校で料理の勉強をして卒業。博士でありながらル・コルドン・ブルーのディプロマを取得した、という異色の経歴の「同窓生」だ。世界の料理の名門であるル・コルドン・ブルーの思想や



「台湾人卒業生同窓会」はにぎやかでおいしい会となった

料理についての考え方を深く勉強し、それを台湾にも広めていきたい、という。

当日は午後二時から、という時間でもあり、同校の先生方の作った美味しいパティなどのオードブルやエスカルゴ、キッシュやケーキなどが出され、美味しい料理に参加者の話もはずんだ。

「医」と「美」。「ラ・セラピス」

JR 両国駅のすぐ近くにあるビューティーサロン「ラ・セラピス」の扉を開くと、なぜか明るい雰囲気を感じる。白いサロンの中に、店長の高見澤千晶さんが「いらっしゃいませ」と言うだけで、あたりが「パツ」と明るくなる。それだけで癒される気がするの、気のせいではあるまい。とにかく高見澤さんは明るい色気の漂う人なのだ。実際に通された施術を行う部屋では、明るくだけではなく、美に対する真摯な雰囲気が漂い、むしろ清涼感のある緊張すら感じた。その秘密は、後で明かされることになる。



「美」と「医」の世界的な広がりを作るサロン「ラ・セラピス」の高見澤千晶店長。明るい人柄の女性だが「美」への厳しさも漂う。

「ラ・セラピス」では、サロンで定番のアートメイク、エステ、ヘアー、という一般的なメニューに加えて、ジェルネイルでありながら自然・そして複雑で繊細な模様を特徴とするネイル「カルジュネイル」の有資格者もいるので、その施術も超一流。

特に「千冠莉」(東京都豊島区・代表取締役)から受け継いだアートメイクの一種「刺繍メイク」の技術でも高見澤さんは一流の腕を持っていることで知られている。刺繍メイクでは洗顔などで落ちにくいきれいで自然な眉毛を作ることができる。

また、美容医療専門の医師、小池佳嗣氏を院長とする同系列の「ラ・セラピス美容クリニック」との提携により、ヒアルロン酸、ボトックス、脂肪溶解注射、あるいは専門の薬などでの美容医療もメニューにある。「ラ・セラピス」はその筋の専門家が集う幅広く奥深い「医」と「美」の総合施設、という感じがある。良い意味での緊張の源は「美」だけではなく、「美のための医」のプロフェッショナルによるところが大きいと感じる。ここなら安心して自分の

体を任せられる、という気にさせるサロンはそう多くはないだろう。

「美」に「医」が融合した「メディカルエステ」もまたラ・セラピスの特徴だ。メディカルエステには3種類のメニューがあり、それぞれ「スーパーフォトメディカルアクション(Super Photo Medical Action)」「フェイスアンチエイジング(Face Anti-ageing)」「ボディサイズダウン(Body Size Down)」がある。美と医の専門家が集中して一人のお客様の「美」を作るお手伝いをする、というわけだから、その効果も期待できる。ここに来たら、他には行けない、というお客様が多い、というのうなずける。

また「ラ・セラピス」ではこれらのプロの技を、これからプロになろうとする人たちに教える「スクール」も併設している。日本だけではなく、米国や台湾でも教えている、という高見澤さんの腕は世界で認められた「美」と「医」の信頼に満ちている。

◆ビューティーサロン 「ラ・セラピス」(サロン・クリニック・スクール)
 東京都墨田区両国 3-26-1 電話:03(5600)8860
 定休日:第一日曜、月曜、祝日 受付時間:平日:11:00-20:00 土曜/日曜:11:00-18:00
 Web: http://laserapis.com
 台湾政府認定校(中華美研技術国際交流協会・東京支部)
 姉妹校:中華民国政府認定・美容専門学院(台北)/カルジエアメリカ認定・アルビューナ
 ネイルスクール(ロサンゼルス)

台湾南部を訪ねて・・・高雄・台南(2) 台湾第四の都市・・・台南

台湾の南西部に位置し高雄の北側には台湾第四の都市「台南」がある。台北、高雄、台中に次ぐ規模を誇る古都。オランダ統治時代の1624年に政庁が置かれて以来、時の権力者鄭成功がオランダ軍撃退後も200年以上に渡り首都機能を持ち合わせた。

台南には寺廟や史跡が数多く点在している。台湾の京都とも呼ばれており、また、台湾小吃の多くが生まれた食の街でもある。高雄からは台湾高速鉄道(新幹線)で20分足らず。バスを使って1時間程度の距離だ。国道1号線(高速道路)を北上する。

日本人が建造 烏山頭ダム=八田ダム

海拔468メートルの烏山嶺に位置し、台湾最大のダムが烏山頭水庫(ウーサントウスイエイク)ダムだ。通称八田ダムと呼ばれ、東側にトンネル、西側に貯水湖の構造になっている。「珊瑚潭」の呼び名を持つ約15万haを誇る烏山頭ダムは、1920年以前は野放し状態であった。水利技術に造詣が深い日本人の八田与一技師がこの地を訪れ、灌漑事業の一切を指揮した。当時28才の若さであったが、総指揮者に抜擢され、調査期間、工事計画をへて完成まで約15有余年の歳月をかけついに1930年に完成させた。この地区は南北110キロ東西71キロに渡る広大な嘉南平野にあり灌漑と排水工事を一気に整備させる事となった。これにより、頻発していた塩害の土地改良や後の農業政策を飛躍的に進歩させた。この功績は大きく、氏の命日にあたる5月8日には毎年追悼式が行われている。

八田与一氏が行った台南烏山頭ダムでの活動は、現在も台湾人から感謝の念が絶えない。58才の若さで他界した理由が米国軍の潜水艦による撃沈であることもその悲しみを増幅させた。優秀な技能を持つ八田氏は烏山頭ダム完成後、船で次なる水利開発のためフィリピンに向かう途中の事故であった。



烏山頭水庫にある八田与一技師像

また、当時は戦時中だったため、台湾にいる日本人の無条件降伏による国外退去命令があった。しかし、永年暮らしたこの地を離れることをかたくなに拒み続けた夫人の外代樹さんも、与一が建造したダムに身を投げ自害した。辛苦して築き上げた烏山頭ダムの送水口だった。享年45歳の若さだった。

台湾人はその偉業と功績を称え八田夫妻の銅像を建立した。その後の1946年12月15日には八田夫妻のお墓を日本式でその銅像の後ろに建立した。

このダムにより、水田は三期作、農地は三毛作が可能となった。現在では天壇、つり橋、親水公園、児童遊戯施設など観光休憩機能を兼ね備えた園区になっている。94年には「西拉雅国家風景区」を作り、台湾では13番目の国家級風景特定区になっている。

ここでは、八田与一氏の功績をたたえた八田与一記念館があり、そこで功績を収録したVTRを見ることができる。館内にはこのほか記念品や写真などが展示してある。本当に台湾人から慕われている事が肌で感じられる景勝地だ。

台南には寺廟や史跡が沢山

数ある寺廟や史跡の代表が1653年にオランダ人により建造された紅毛樓の異名を持つ「赤崁樓」(ツウカンロウ)である。在来線の台南駅から西に歩いて10分の場所に位置し当時のオランダ領事館として赤レンガ造りの台南最古の建築物

である。赤レンガを重ねて壁面にした建物で、つなぎ目にはもち米と砂糖を混ぜた接着方法がなされている。観光客は触って甘さを感じていた(笑い話)。

その赤崁樓から南に10分歩くと「延平郡王祠」がある。1622年から始まったオランダ統治時代から鄭成功王朝時代、そして清朝時代、後の国民党の支配へと続く歴史にあって、ここではその軌跡をじかに見ることができ。鄭成功王朝は22年間続いた。母親は長崎出身の田川姓を名乗る日本人。1624年生まれで62年没。五人の王妃と3500人の女中がいたという。

ちなみに、台南駅はもともと日本人が建造した在来線の駅舎である。1925年には欧州式となり、現在は在来線の台南駅と台湾高速鉄道・新幹線の台南駅は別にあり、少し離れた場所に位置する。

また、台南での宿泊は「台南遠東国際大飯店」(シャングリラホテル)がお勧め。五つ星の最高級ホテルだ。居心地、サービスともに良い。

高雄の名産地

台南の景勝地を離れ再度高雄に下ると、高雄屈指の農産地「美農」がある。台湾バナナの産地で、その昔は自然のバナ

台湾は亜熱帯に属するので、ウイスキーなどのお酒はこれまであまり作られていなかった。そこに、シングルモルトのウイスキー「KAVALAN」の醸造所を2006年に宜蘭に作ったのが「金車」だった。しかし、その金車の更に前から、台湾の南投県には「南投酒廠」というウイスキーやワインなど複数の種類の酒を作る醸造所があった。

この南投酒廠で作られているお酒で有名なのは台湾の名産であるトロピカル・フルーツを使った果実酒(ワイン)だ。ここは1977年に作られた、台湾でも有名なお酒専門の工場。その特徴を表現するために、工場の庭にはスターフルーツやバナナなどの形をしたオブジェがあちこちに並んでいる。子供はお酒よりもここで遊ぶように、となっているのかもしれない。ここで作っているお酒ではライチを使った玉泉枝酒(ライチワイン)は特に有名だが、さらにブランデー、ラム酒、ウイ

ナをもいで食べられたほど豊かであった。現在は他の農産物に主力を譲るが、台湾バナナの原産地として有名だ。一説にはバナナの植木は6寸(180センチ)が最も理想の植樹間隔という。しかし現在、バナナのサイズも小さくなっているという。

その農産地に位置しているのが「美農客家文化館」や「油紙傘文化村」の観光地だ。客家文化と唐傘、蝶が知られている。客家人が多く居住している事で広く知られている。客家とは約300年前に大陸から移住してきた漢民族で、ここでは炉や歌字亭などの客家文化を触れることができる。また、美しい絵柄の唐傘、数多く生息する蝶を観察することもできる。

高雄市郊外のほど近い場所には「旧英国領事館」がある。1865年の清王朝時代に領事館として建てられたもの。エキゾチックな赤レンガ造りで現在は敷地内にはモダンなカフェテラスがある。現存する最古の洋館である。高台に位置しているため眺めがよく三方を海に囲まれている。沈む夕日や高雄港の夜景は絶景。カップルが多いのもうなずける。

また高雄は市内を流れる川をロマンチックな台湾のセーヌ川に見立て「愛の船」として乗船することができる。橋梁は夕暮れにはライトアップされるため、多く

のカップルが遊覧船でデートを楽しんでいる。兩岸にはほぼ毎日何かしらのイベントが開催されているとおしゃれなカフェテラスが川沿いに続く。また、船上からは高層ビルの壁面いっぱい映し出された自動車の広告や高雄の街を望むことができる。

場所は高雄駅からタクシーで10分程度の河濱公園。高雄寒軒国際大飯店の正面から出船している。

台湾南部は魅力がいっぱい

高雄・台南の景勝地はいかがでしたでしょうか。紙面では断片的にしかお伝えできませんでしたが、実際に訪れる時の参考になればと思います。台湾は親日家が多い事で知られていますが、特に高雄・台南地域の人はその感情の度合いはことさら強い気がします。訪れてみてわかることが本当に多く、読者の皆様には是非台湾に足を運んでいただきたいと思います。今年が中華民国100年の節目の年でもあります。首都台北を起点に、そして高雄への直行便もあり、さらに台湾高速鉄道の開業で北から南まで100分以内で行き来することが可能です。台湾の空気をご自身で感じてください。その一助になれば幸いです。

「台湾ワイン」- 南投のお酒の工場「南投酒廠」



ワイン工場の入口にひときわ目立つ大きな樽がスキーも作っている。観光地の1つにもなっており、休みの日には家族連れで、また平日には学校の社会見学などで訪れる人も後を絶たない。工場の門を入るとまず目につくのが右手に見える巨大な樽。中にはワインを染

しめるお店がある。また、左手にはレストランとショップがあり、ここで作っているお酒を飲むことができる。工場に入ると、さまざまなお酒を作る工程などが勉強できる展示室がある。醸造所の一部も覗くことができ、試飲も無料でできるが、もちろん未成年が飲んではいけません。ところで、この工場に団体の観光で入ると、お酒の害と徳を教えてくれるちいさな「教室」をやっている(写真)。お酒は過ぎない程度に飲むと体に良いが、飲み過ぎると醜くなる、と楽しく教えてくれる。この話も聞いていてとても楽しい。

亜熱帯の台湾。そこはフルーツの王国、と言ってもよい。このフルーツをふんだんに使ったお酒の工場はいつも見学の人でいっぱいだ。

◆南投酒廠ホームページ
<http://event.ttl-eshop.com.tw/nt/>

南投市市長の許淑華さん

南投市は台湾本島の中央に位置し、四季を通じて美しい景色が広がる都市。人口は約10万人、全域の平均海拔は200メートル。年間平均気温は24度で地勢はなだらかで気候は温暖。雨が多く土地が肥えているので、ライチ、龍眼、トマト、パイナップル、パパイアなどの亜熱帯性の作物を作る農園、お茶園が至る所にあり、農業が盛んだ。1957年に台湾省政府がこの地に移り、1981年に南投県の管轄市に昇格して現在に至る。管轄区内は行政機関が集まっており、自然条件が優れているため、南投県の政治の中心となっている。

南投市とは一言で言えば「自然豊かな地」ということになるだろう。そして、この南投市の市長、許淑華さんは、健康的な魅力を持つ美人市長として台湾でも大変に有名だ。その許淑華さんにお話を伺った。

「まず、南投市の南投市の市章は英語の名称(Nantou)を使ったデザインに新しい南投市のシンボルである「緑美橋」を組み合わせたものです。国際的な異文化交流の地として南投市は「文化に国境はない」という言葉を使い、2000年7月1日



南投市市長の許淑華さん

にアメリカ合衆国ユタ州ウェストバレー市と正式に姉妹都市となり、経済教育、文化芸術等の交流を行ってきています。デザインや文化に力を入れているんですよ」

「南投市街のメインストリートに沿って進むと東山路にある南投酒廠に突き当たります。ここは台湾国内で唯一ワインを生産する工場です。1986年に観光客を受け入れるようになりました。工場内の入り口近くには大きなヌズギでできた樽があり、ここはパブになっています。観光客はその中で工場で作られたさまざまなお酒を味

わうことができます。もちろん、その工場に入るとお酒を作る過程を見学できます」

南投市でワイン作りが盛んなのは、南投市がトロピカルフルーツのメッカでもあるからだ。この工場のライチのワインは特に有名だとのこと。

「猫羅溪にまたがる緑美橋はアーチ式の吊り橋で赤く塗装されており、その優美なデザインが特徴です。夜になるとライトアップされ、その美しい姿を見ることができます」

「猫羅溪のほとりにはスポーツ施設や娯楽施設が充実し、自転車専用道路と歩道が設けられています」毎年6月中旬はライチの生産量が最も多い時期になります。嶺興路の両側にたわわに実った赤い果実を見ることができ。また、在来種のパイナップルで作られたパイナップルケーキは観光客向けのおみやげとして大変に好評です。

まさに、観光とフルーツで成り立つ南投市らしい市長のお話だった。南投市は平和で暖かな台湾らしい素朴な味のあるところだ。南投市はのんびりと観光にまわるには、最適な街だった。

恋人の胸に触れる道? 「鹿港/摸乳巷」

台湾の鹿港(Lukang)は台湾でも有名な古い港町だ。彰化県の海沿いにあるが、清の時代に貿易で繁栄した。そのため、日本統治時代よりさらに前の台湾の街並みが残っている。日本からも多くの観光客が訪れる。街を歩くと、煉瓦作りの渋い街並みが続くので、中華の異国情緒が十分に楽しめる。路地には多くの土産物屋が続く。その土産物屋を眺めながら街を歩くと、人だかりがしているところがある。みんなそこで足を止めて、路地の横にある細い通りを眺めている。

その通りの入り口には大きく「摸乳巷」と書かれている。ほとんどの若い女性はその字を見て「クスッ」と笑って通り過ぎる。「摸」は手探りをする、という意味。「巷」は人通りが多い場所のこと。交差点などのことを言うこともある。「乳」は当然、女性の胸のことだ。意味は「女性の胸をまさぐる人通りの多い場所」ということになる。日本語に訳していると訳しているほうも気恥ずかしさを禁じ得ない。あの女性たちがみな複



雑な表情をして通り過ぎたのはそのせいであったか、と訳した後自分の純さを認識する。後、後の祭りだ。なぜそこが「摸乳

100%海洋性コラーゲン

美鱈物語

特別抽出法利用。
天然の魚鱈から抽出されたフィッシュコラーゲン、無汚染で安全。
飲むフィッシュコラーゲン、無添加で安心。
低分子量、消化吸収がしやすい。
高品質 45000mg 配合。

詳しくはホームページへ
<http://scaletalk.jp>
お問い合わせ
03-5812-4868 info@scaletalk.jp

有限会社 興亜
東京都台東区上野 3-21-1 宮本ビル2F

★山手線新大久保駅2分 ★総武線大久保駅1分

嘉南旅行社

東京都知事登録旅行業第2-4417号(社) 全国旅行業協会正会員

台北 ¥27,000(税別)	北京 ¥23,000(税別)	上海 ¥35,000(税別)
大連 ¥32,000(税別)	韓国 ¥27,000(税別)	越南 ¥29,000(税別)
香港 ¥24,000(税別)	曼谷 ¥21,000(税別)	新加坡 ¥37,000(税別)

●代辦中國・東南亞諸國簽證・臺灣證・港臺證●日本國內観光・温泉・滑雪旅行●世界各地便宜機票・酒店及團體旅行●來日團體的酒店、返車、導遊●電腦訂位、迅速・確實

精國語、臺、日語服務親切 ●銀行匯款口座 三菱東京UFJ銀行練馬駅前支店 (普) 3678888 (名義) 嘉南觀光 (株)

營業時間: 週一~五 9:30~18:30 週六 9:30~13:00
TEL: 03-3366-3988 FAX: 03-3366-2989
地址: 〒169-0073 新宿区百人町2-20-1 第二岡田屋ビル401

急募

(契約職員募集)

職 種: 台湾観光インフォメーション及び接客全般
募集人員: 1名
賃 格: コンピューター(中文及日文)ワード、エクセル、パワーポイント等、操作可能の方
2011年6月より勤務可能な方
勤務地: 東京
特 遇: 出張旅費補助による、交通費、食費、宿費
必 須: 履歴書を下記住所宛に郵送
(中文又は日文、写真添付)
郵送後選考後送って面接日を連絡いたします。
締 切: 2011年5月20日海内迄
送付先: 105-0003 東京都港区西新橋1-5-8
川子ビル3階
台湾観光協会 人事担当 宛

※書類審査の不合格者には通知及び履歴書の返送は行いません。予めご了承ください。
※求人募集に際して電話によるお問い合わせはご連絡できません。予めご了承ください。

巷」となっているかというところ、その通りの入り口は2人でなんと狭く並んで入るから、だんだんと狭くなっていくから、最後には、一人が通るのも難儀するほど狭くなる。ここに恋人と二人で歩いて入ると...あとは読者のご想像にお任せする。要するにそういうことなのである。それはともかく、こんな面白い「通り」が鹿港には2ヶ所ある。そして、この名前をつけたのが誰であるのかわからないが、なかなか色気のある楽しい名前を付けたことによって、ただの狭い通りが有名な観光地になってしまう、というこのセンスがなんとも情い。恋人と一度は訪れたい街、と言ってしまうのも良いものであろうか?鹿港の街は。

東京華僑總會・大阪中華總會が馬英九總統を訪問

東京華僑總會の朱恭亮会長率いる「東京華僑總會回國訪問團」と大阪中華總會の洪勝信会長率いる「大阪中華總會回國致敬團」の一行が、2011年4月8日、台湾の總統府を訪れ、馬英九總統、僑務委員会の吳英毅委員長と会見した。両訪問団の人員は約30名。

馬總統はこの接見で、特に台湾の政府が日本との外交を重要視していることを説明、東日本大震災でも台湾は即時に救助隊を送り、また日本円にして130億円以上の義援金を官民から集め、500トン以上の救援物資を送ったことを語り(4月8日現在)、今後も日本と台湾は密接な関係を築くことを確認した。また、馬總統は自身が政權を担ってから、日台間で多数の決定が行われ、多数の条約が結ばれたことにも触れた。たとえば、東京・羽田-台北・松山空港定期便の就航、ワーキングホリデー制度、日本でのビザ取得に「台湾」の名称を使えるようにしたこと、北海道に5番めの台湾の政府の駐在の弁事処(領事館扱い)を作ったこと、また、新しいところ



馬英九總統と中華民國留日東京華僑總會の朱恭亮會長

では日本の国会で「海外美術品等公開促進法」が成立したことなどがある。馬總統は、在日の華僑による多くの中華学校にも貢献し、日台の文化交流は途切れることなく、さらに促進すると語った。

また、僑務委員の吳英毅委員長も日本からの2つの団体の来訪を歓迎し、東京華僑總會の朱会長には「民國百年記念行事の活動について感謝の言葉を述べ、ま



馬英九總統と中華民國留日大阪中華總會の洪勝信會長

た大阪中華總會の洪勝信会長には、阪神地区の華僑団体をしっかりとまとめ活動をしていることや中華学校の活動について謝意を表した。

8日の接見に先立って6日、来台した一行は教務委員会で海外での華僑に対するサービスの現状についての映画を鑑賞。7日には台北花博の会場を訪れ、その晩は外交部の招待で外交部との交流を深め

た。洪英傑・秘書組組長、王東生・簡任秘書(前台北駐日經濟文化代表処僑務組長)、何仲民・秘書回部辦事(前大阪辦事處秘書)他が招待された。また、僑務委員と台北市内のレストランで会合を行い、由任弘・副委員長、第1部の梁崇禮所長、第4部の林瑞隆所長(前僑務組長)、黃圃萱さん(前僑務秘書)他が同席した。

同会の席では、東京華僑總會の朱会長が、在日の二世、三世と台湾との文化的つながりを維持発展されるのが急務であることを語り、そのためにこの民國100年の日本での行事を中心に在日華僑同胞が

居一体となる必要があることを強調した。大阪中華總會の洪勝信会長は、流暢な中国語で、大阪は今回の東日本大震災では全く影響を受けていないが、いくつかの行事が中止になり、その費用を震災の被災地への義援金などに回したことを語った。

東京、大阪の華僑団体の両会長とも、日本で教育を受け、日本で活動し、日本で生活しているとのことで、今回の日本での大震災の被災者に対しての台湾からの支援は非常にありがたく、最高の感謝の気持ちを表したい、とその最後を結んだ。

大阪中華總會・洪勝信會長が僑務委員會「捐贈僑生獎助學金」へ100萬元を寄付

中華民國留日大阪中華總會・洪勝信會長が僑務委員會の「捐贈僑生獎助學金」へ100万台湾ドルを寄付。4月14日、理監事定期例会の席上で台北駐日經濟文化代表処・駐大阪弁事処の黃諸侯処長を通じ台湾の政府・僑務委員會から感謝状が贈られた。

洪勝信會長が僑務委員會に感謝状が送られた



台湾旅館業の組合理事長 徐銀樹氏が来日

2011年3月28日から4月2日まで、中華民国旅館業同業公会全国聯合会の理事長、徐銀樹氏が日本を訪れた。徐理事長の今回の来日の目的は、東日本大震災とその後起こった大津波、そして原子力発電所の放射能漏れなどで揺れている宮城県、福島県、茨城県の現状を調べ、本国の観光諸団体へ報告するだけでなく、日本の現地の同業者を訪れ、その復興に力を貸したい、との思いで、いてもたってもいられなくなっての来日だという。

その徐理事長の言葉通り、28日に来日したその足で翌29日には日本の同業者に依頼して東京から北に向けて出発、すぐに現地に入った。小名浜、勿来(なこそ:福島県)など、放射能汚染も心配される地域も自ら訪れ、現地の様子や同業者の様子などもその足で回って調べた。また、日本の旅館業の組合のいくつかは、自ら義援金を手渡した。また、観光協会をはじめ、日本のほとんどの観光関連団体を回ったとのこと。世界に脅威を与えた福島原発の大規模な放射能漏れの事故のため、東京だけではなく、全く関係の無いはずの沖縄なども含め、いま日本には世界の観光客が寄り付かなくなっている。そのため、ホテル・旅館などの窮状は察するに余りある状態だ。徐理事長はその現地に赴き、現地の人々を励まし、自ら台湾から持ってきたミネラルウォーターを配りながら各地を回った。そして確信したことがいくつもあつた。

まず日本は大丈夫だ、ということ。半年で戻るでしょう、と徐理事長は言う。東京は問題なことは言うに及ばず、立ち入り禁止の区域の外であれば、放射能汚染は心配することはない、ということ。自らが行って来た地域から出るときの放射能スクリーニング票を見せていただいた。そこには「放射能汚染せず」とある。さらに、帰国したらこのことを必ず台湾の政府に報告するのみならず、4月半ばには日本の観光施設は問題がない、ということもPRするという。さらに、今年10月には40人以上の台湾のホテル・旅館業の組合のメンバーを連れて、これらの地域を行脚するツアーを計画す



「日本は大丈夫です」。熱く日本の復興を語る台湾旅館業組合の理事長徐銀樹氏

るとのこと。

徐銀樹氏は1957年生まれ。1981年から86年に台湾からの留学生として亜細亜大学に留学。大の親日家だ。徐さんは言う。「災害に会った直後は、みんな暗くうなだれているのは、あたりまえです。悲しいことがたくさんあったのだから。でも、そういうときに遠くからではなく、近くに来て話してくれる人がいる、ということが、なんとありがたいことか。私はそう思うから、こうやって日本に来て、現地に行って、話しかけるのです。そして明るい気持ちを届けてあげることが必要です。私はそのために日本に来ました」「台湾も2003年の鳥インフルエンザ騒ぎのとき、旅館業も大変でした。私は日本と日本人の大きな恩と親しみを感じます。それはお互い様、共存共栄をすることが本場に必要です」。

終始にこやかな笑顔を絶やさず、ときには厳しい表情も見せながら、徐さんの言葉のひとつひとつが、心に響くのを感じた。インタビューを終えて外に出ると、少し暖かくなった空気と薄曇りの空のあいだに、一分咲きの桜の花が薄いピンク色に色付いていた。徐さんの「日本は大丈夫です」という言葉を思い出した。

日進館万座温泉会長泉堅氏 「桜りん会」大震災チャリティーコンサートに出演「大切なあなただから」を歌う

「がんばろう、日本」を掲げ、「第九回東北地方太平洋沖地震義援 桜りん会チャリティーディナーショー」がこのほど池袋で行われた。日進館万座温泉会長で演歌歌手でもある泉堅氏も本人が作詞作曲をした「大切なあなただから」を歌い、会場の観客から大きな反響を呼んだ。

同氏によると、この曲は東日本大震災で震災に遭遇した方々や、「おどろき」の人たちを勇気付けるために歌ったとのこと。また、日本だけではなく、台湾を始め、アジアの国々とも仲良くしたい思いも込められたという。



万座温泉オーナー:泉堅氏(左)・歌手:大月みやこ氏(中)・桜りん会会主:本田真恵子氏(右)

チャイナエアライン「関西-ニューヨーク就航記念セレモニー」

これまで、台北-北米大陸直行便だったチャイナエアラインの便が、新たに台北-関西-ニューヨーク便として生まれ変わった。

2011年4月28日、その最初のCI20便が台北より到着。関西で翼を休め新たな乗客を載せ、ニューヨークへと飛んだ。毎週3便が飛び関空発12:50、ニューヨークのJohn F. Kennedy空港には、13:00着(いずれも現地時間)となる。この日、同便の関空からの到着を待つ関空のゲート内で関係者が集まり、記念のセレモニーが行われた。最初に挨拶に立ったチャイナエアラインの張家祝会長は、同便は台湾のみならず、日本のビジネスマンや観光客にも利便性の高い便であることを強調、また、日本と台湾の深い結びつきについても語った。次に挨拶に立ったのは、台北駐日經濟文化代表処の馮寄台代表。馮代表もまた、この便の就航によって日本と台湾のいっそうの結びつきの強さを強調した。3人めの挨拶は、関西国際空港株式会社社長・福島伸一氏が行った。福島氏は東日本大震災のことを語り、この便も就航されないのではないか、と考えたこともあり、この便の就航がより一層感慨深いものとなったことを語った。この便は、週3回の就航となり、台湾からのみならず、関西エリアからNYへの利便性を増すことは言うまでもない。NYの空港もJFKとなり、NY現地でも利便性が高い。また、チャイナエアラインでは日本人CAも新たに採用し、日本人の



関空からニューヨークへの初便の機長らを囲んで

利用者に大幅に配慮しているとのこと。チャイナエアラインのこれまでの就航記念のセレモニーでは、中華の獅子舞などが行われ、大きく華やかな音が響くことも

多かったのだが、今回は大震災への犠牲者や被災者への配慮もあり、関係者、来賓の挨拶の他は記念のテープカットと記念写真撮影などが主のセレモニーとなった。

第十八届在日台湾商工会議所理監事選挙臨時弁法 選挙公告

2011年6月5日現任理監事の任期満了に伴い4月16日付第十七届第七次理監事聯席會議の議決に基づいて選挙臨時弁法を公告します。

- 一、改選数:理事四十九名、監事六名
立候補資格:日本において商業に従事する台湾出身者とその関係者及び国籍にかかわらず台湾と関係を有する商業者を以て組織された団体、台日間の商業の繁栄、社会福祉に功勞のある者で、満二十歳以上の男女。
- 二、立候補の方法:当會議所備付の用紙に所定事項を記入の上、保証金三万円を添えて持参または現金書留にて当會(下記「八」参照。以下同)までご郵送下さい。また立候補用紙をご希望の方は返信用切手同封のうえ当會宛てご請求下さい。
- 三、立候補締切日:2011年5月19日(木曜日)午後5時まで必着。
- 四、この届に立候補本人の捺印あるいは署名がない場合は無効。
- 五、立候補の審査は5月22日(日曜日)午後4時より台南担仔麵・新宿店にて(東京都新宿区歌舞町2-45-1-1F・電話:03-3232-8839)行います。
- 六、会頭及び副会頭立候補届出の締切は5月27日(金曜日)午後5時まで。
- 七、新任理監事は、5月28日(土曜日)午後3時・東京華僑總會會議室(東京都中央区銀座6-13-6 Tel:03-3541-7348)にて、第十八届第一次理監事大会に出席し、正副会頭を選出する。
- 八、立候補届提出先及び問い合わせ先
※持参の場合の問い合わせ先:
◆在日台湾商工会議所
〒104-0033 東京都中央区新川12-8-4 八重洲岡ビル6F
電話:03-3537-6788 FAX:03-3537-7866
郵送の場合:封筒表面に(立候補)と朱記の上、現金書留で締切日に必着するように當會議所宛て送付のこと。
- 九、立候補者数が改選を超過したときは、当選委員會で投票により理監事を選出し、決定する。

2011年4月16日

在日台湾商工会議所第十八届理監事詮衡委員會
委員長: 羅王明珠
副委員長: 詹德薰 黃宗敏
委員: 陳木川 黃宗民 蘇成宗 時廣棟
松村秋森 鄭慕隆 林鎮貞蓮
陳慶仰 尹世玲 李慧鑽

「拡大するアジア市場を開く」で台湾とJETRO山口の取り組みを紹介



JETRO(日本貿易新機構)のインターネット放送「JETRO Global Eye」の「拡大するアジア市場を開く」特集でJETRO山口の取り組みが発表された。JETRO山口では、山口県の企業と台湾との取り組みをサポートし、台湾市場で活躍する企業を紹介した。台湾は中国市場へのゲートウェイとして高成長を遂げている、大きな魅力を持っている新しいアジアの市場であるばかりでなく、台湾は対日感情が良い地域としても有名だ。

同番組で紹介された吉工園は、新しく開発した護岸工法(プランチブロック工法)が台湾の公共工事に採用され、また、グリーンプラスは、台湾のパートナー企業との出会いを機に、車のフロントガラス用コーティング剤のアジア輸出に成功。この二社の台湾での活躍が紹介されている。

台湾で活躍する日本人テレビ司会者-MATSU

あっさりと国境を越えていく台湾発の情報

「いかに空気を崩すか」。私がインタビューする際、初めに考えることだ。番組では、台湾の各界の著名人に話を聞いた。台北で行われた王貞治監督の記者会見では、運動記者から野球に関しての質問が相次ぐなか、食に関する質問をぶつめた。「台湾ではどんなものを食べるのか」「お薦めは何か」など。王さんの表情がガラリと変わり表情に人間味が溢れてくる。「食」は万国共通のテーマだ。

李登輝元総統にも「お薦め」をうかがった。「私は台湾の食べ物には詳しくないからねえ」と流暢な日本語で冗談を交え、「三

峽のダンクイヤーは美味しいですね」と紹介してくれた李登輝さん。温かさが溢れる。取材の表向きは「著名人に名店、名物を書き出し、視聴者に提供する」ということだが、裏の目的は「空気を柔らかくし、人間性を画面から滲み出させる」こと。一生懸命、丁寧に説明しようという姿が画面に表れれば、時間が数秒しかなくとも、或は具体的な店名がなくても、取材の目的は達したと(私の番組では)言える。

さらに「相手の話に反応する」ということも肝心。インタビューにも緊張感があり、事前に準備した質問を飛ばすまいと、

相手の話の上の空の時間がある。インタビューを受けている方も、インタビュー者の表情を見ているもので、「自分の話が面白くない、的を射ていないのではないかと不安になり、話に集中できなくなる。相手の話を聞き、反応し、関連づけた質問をする。基本だが、なかなかそれが難しい...」

2010年に台湾のプロ野球チームに在籍した高津臣吾投手は「お薦めは台中の飲茶ですけれど店名を言ってしまうと、今度から行けなくなりますからねえ」と冗談まじりに話してくれた。日本、台湾でタイトルを獲得した正田樹投手は「カメラのレンズ、絶対に見えないですよ」と、普段から私の番組を見ていることを教えてくれた。ユーモアで切り返してくれる姿からも機転を垣間みることができる。

アジアのスター羅志祥は「私の故郷基隆の魯肉飯がお薦め!名前?肉羹順です!」突然の取材に対して熱心に答えてくれた。「台湾人は情熱的」という言葉をよく聞くが、羅志祥の反応は、「情熱」を象徴する一幕だ。

このように、インタビューは相手から知恵や雑談を引き出す狙いのみならず、「言葉に付随した空気感」を引き出す映像特有の効果も持っているのだ。



インタビューは「意外な点」を聞くのが自分のやりかた。そこに人間味がでてくる



李登輝元総統にも「食」についてインタビュー

MATSU プロフィール (阿松)

台湾で活躍する日本人テレビ司会者。前職のアシスタントディレクターとしてテレビ番組の企画・制作・演出に携わり、現在は台湾発の情報番組「台湾の食」のMCを務める。これまで日本の各地を巡回し、台湾各地の観光地・名産地・温泉地などについて、番組内で「台湾の食」を伝える。同シリーズはアメリカ、カナダ、中国、日本など世界で放送されている。そのほかにも台湾の観光地にも出演している。

『いかに台湾、やっぱり日本』第5回

「担仔麵? もりそば?」

作家 亞洲奈みづほ

もしも筆者が「今、最も食べたい料理」を尋ねられたら、世界中のどんなグルメをさしおいても、即答しよう。「担仔麵(ターアミー)!」

初めてそれを口にしてから、10年という歳月をへても、忘れられない味がある。あっさりとしたなかに、深みのある、エビのダシ汁。トッピングのそぼろ肉もポイントだ。担仔麵の老舗「度小月」のそれは、まる1日、じっくりと煮こまれたもので、100年にわたり使いつがれてきた鍋は、底が抜けても遺品として、店に飾られているという。今では、そぼろ肉のほうは「度小月」ブランドの名を冠して、缶詰入りでスーパーでも売られているようだ。そんなそぼろ肉とエビ、これに香菜やモヤシ、ニラなども添えて、めしあがれ! 店の言によれば、食べ方のポイントとして、スープの最後のひとさじは、終わりのシメとして残し、味わってほしいとのこと。ダシ汁に対する店側の自信のほどが、うかがわれる。

では、これに対抗する日本料理として、何が考えられるだろう。日式ラーメンをあげようものの、中華麵という意味では舶来



コクのダシに自信あり!

ものだ。うどんは? 台湾にも、そっくりの刀削麵がある。ならば海外では、あまり食べられていない、そばがあげられるだろうか。じつは担仔麵とそばとの間には、意外な共通点がある。いずれも発祥が「窮状をしのぐため」—担仔麵はさかのぼること1895年、台南の漁民・洪芋頭が、魚のとれない「小月」を過す(「度」)ために、発明したものである。いっぽうの、そばもまた、米や麦を栽培するには適さない、痩せた土地で、飢えをしのぐために栽培されたものだ。

しかもいずれも屋台料理である。担仔麵の「担仔」とは、天秤棒で担ぐという意味だ。発祥当時は、商売道具ひとつを、こうして運んでいたのだろう。その頃の名残だろうか、繁盛して名店として全土に名をはせるようになった今でも、「度小月」の店では、厨房で担仔麵を作るわけでもない。店頭で、まるで屋台道具一式を広げたような一角があり、客の目の前で盛りつけてくれる。客のほうは、それを眺めている間に、食欲も倍増、というわけだ。

ただし異なる点もある。担仔麵は、前述のトッピングが欠かせない。もりそばのように素麺というわけにはいかないのだ。何よりも、漢民族は冷えた料理を好まないという点から、冷たいつけ麺式のもりそばは、台湾人にとっては新奇に感じられることだろう。そのサイズも異なる。日本で担仔麵は、担担麵と区別する意味もあり、

「台湾式ミニラーメン」の名で呼ばれることがある。そう、軽食(「小吃」)天国である台湾ならではのミニサイズなのだ。井ではなく、お碗程度の大きさに、つがれる。

台湾語には、飽きずにおいしく食べて(「食巧不食飽」)という表現があるのだが、まさにそれを地で行くのだろう。おいしさのあまりに、もうひと口、食べたいところだが、そこは腹八分目。だからこそ、またその店に、足を運びたくなってしま...それが担仔麵の魔力でもあるのだろう。それでもなかには奇特な人もおり、台南在住の紳士が、思わず連続18杯を食いつくしてしまったという記録が「度小月」には、残っているそう。ただし、たとえばわんこそばを、1人10杯も積みあげてしまうような感覚は、台湾には、あまり見られない。まして、わんこそば選手権で、10分間に399杯を食べほしてしまうような

世界は、一般人には、ほど遠いことだろう。何ごとにも、ほどほどに...これは台湾人の気質として、筆者が感じ続けてきたものでもある。たとえば烏龍茶は焙煎は少なめに苦味をおさえてまろやかに。温泉の湯は、ほどよくぬるめに。台湾映画も、一線をわきまえているとでも言おうか、韓国のそれに比べて、目をとおうような残忍さ・悲惨さが少ないのだ。また満漢全席のような、てんこもりよりは、軽食(「小吃」)料理の豊かな風土。そんなほどほどの「ゆとり」や「なごみ」というものは、台湾人のキーワードであるような気がする。

これは余談だが、日本には「台南担仔麵」を店名に掲げた台湾料理店が、いくつ存在する。また台湾人に古都・台南の代表料理と言えば? 「担仔麵」を第一にあげる人が多い。そんな台湾グルメ、ぜひ一度、味わってみたいかが?

台湾を憶う日本人(12)

故郷の台南・安平に教育の原点をみる

~島津幸生さん~

古都、台南は17世紀にオランダが占領し、ゼーランジャ城(安平古堡)という大砲を備えた城寨をつくり、拠点にした場所。その後、明朝の遺臣、鄭成功がオランダ人を追放した。貿易の中心地で、商業地域(古市街)が形作られた。異国情緒溢れる街である。

島津幸生さん(68歳)は日本時代の1943年にゼーランジャ城の前にあった家で生を受けた。祖父(島津秀太郎)が大日本塩業の安平出張所長だった。多くの台湾人苦力を雇っていたという。家は以前はドイツ商館の邸宅で名士であった。1934(昭和9)年には、台南の市議会議員に選出されている。「祖父は弓道、野球、ゴルフをやっていた。写真は趣味で、これは父も私も受け継いだ」と島津さんは言う。往事の写真をを見せてもらった。そこには襲撃した明治の男が写っていた。祖父母は1937(昭和12)年に、安平で台湾初の国防婦人会を結成した(後に台南国防婦人会も作られる)。

戦後、日本に引き揚げて、東京世田谷の三軒茶屋に移り住んだ。祖父母は、古着屋や汁粉屋などの店を経営していた。祖母の思い出を島津さんは、「近くの金持ちが

林雅行(映画監督)

宝石を持ってきて勘定を頼んだり、祖母が金の指輪を百貨店の外商に売りにいくのについていった記憶がある。」千葉大学教育学部を経て1967年に地理学(地質学専攻)を卒業した島津さんは、教師として教壇に立ち、1994年から校長をつとめた。文部省や県の研究指定校になり、その陣頭指揮をとる傍ら、地学、環境教育の研究を重ね書物も多い。退職後の今は、郷土史、幕末の新撰組や赤報隊の歴史を調べ続けている。話しているところ研究心旺盛なことに驚かされた。

戦後10回以上も台湾を訪れた島津さんは、必ず台南に足を運ぶ。安平には、日



「台南」を思う島津幸生さん

中国語を学ぶなら、台湾への正規留学を

現在海外に留学する日本人の数は約8万人にも及び、その約7割が英語圏への留学。留学先の1位はアメリカで約3万8千人、2位は中国で約1万8千人が留学しているが、ここ数年は国外へ出たがらない学生も増えていることから留学生の数はやや減少している。しかしその一方で、企業では今後益々グローバル化社会に対応出来る人材を必要としている。

台湾に留学する日本人は、現在そのほとんどが1年未満の短期語学留学生であるが、私はしっかり中国語を習得する為には「台湾への正規留学」をお薦めしたい。台湾の大学では、国際化を目指すべく外国人に特別入学枠を設けている。書類審査で入学することが出来る為、どんな難関校でも入学出来る可能性がある。その他にも、学費が安いことや生活環境の良さ等、日本人には特にメリットが多い。だが、台湾と日本は地理的にも感情的にも近い国であるにも関わらず、日本からの正規留学生はアメリカや韓国からの留学生よりも少なく、それは日本人の危機意識の低さともとれる。まだあまり知られていな

い台湾正規留学の良さをいち早く理解し行動に移せる者だけが、この制度の恩恵を受けられることは間違いない。

台湾正規留学で中国語を学ぼう!
一般社団法人 台湾留学サポートセンター
〒271-0051
千葉県松戸市馬橋281-5 AMビル1階
TEL:047-710-5588/FAX:0120-817-517
E-mail: info@taiwanryugaku.com
URL: http://www.taiwanryugaku.com/
◆5月のイベント
無料個別相談会
【仙台会場】
日時: 2011年5月28日(土)
09:00~15:00 【完全予約制】
会場: 台湾大学進予予備校 仙台校
【東京会場】
日時: 2011年5月29日(日)
09:00~15:00 【完全予約制】
会場: 台湾大学進予予備校 秋葉原校

大阪大学 許宏仁さん

現在、大阪大学大学院経済学研究科政策専攻の許さんは、経済学をツールとして様々なプロスポーツの労働市場制度やプロスポーツの発展をテーマとして研究している。許さんは台湾の大学在学中、ソフトボールチームに入ったのをきっかけに、野球に興味を持ち始めた。さらに毎週日本のプロ野球の試合をテレビで見ているうちに、日本のプロ野球がどんどん好きになり、さらに日本語にも興味を持ち勉強を始めた。日本のプロ野球の魅力はなんと言っても選手の野球に対する熱意、真剣さ。そして日本の野球選手には驚くほどの練習量があると許さんは言う。好きなチームや選手が特にあるわけではないが、日本プロ野球そのものが大好き。その憧れから大学卒業後、日本を留学先に選んだ。現在は奨学金のおかげでアルバイトはせずに勉強に専念できる許さん。奨学金をもらうまで大学院の勉強をしながら、アルバイトをする生活がとても辛かったという。しかし、アルバイト先で日本

の若者と一緒に働いたため、日本の若者の価値観や考え方を身近に感じることができたそう。サークルなどに力を入れる台湾の大学生より日本の大学生は掛け持ちまでしてアルバイトに精を出している、と許さんは言う。将来は日本の商社に就職して自分の力を試したいと思っている許さん。留學生生活で一番嬉しかったことは日本台湾学生会議関西支部で台湾人以上に台湾を愛している日本の学生達と知り合ったことだ。そんな日本の学生達



許宏仁さん

の心に感動され、台湾をこれほど大切に思っている国だからこそ、自分も日本という国を大切にしたいと許さんは言う。

台湾豪華アーティストの集う「ASIA MUSIC SUMMIT vol.2 feat.Dance masters」

昨年に続き、4月24日に、東京・渋谷のNHKホールで「Asai Music Summit vol.2 / feat. Dance masters」が開催され、約3500人の観衆が集まった。出演は、VANNES、ショウ・ルオ、DA Mouth、ウィルバー・バン、dance flowなど、アジアのダンスシーンを代表するアーティスト。写真は、ライブに先行して行われた記者会見のものだが、多くの外人アーティストが地震、放射能などを敬遠して来日中止を行う中、今回出演のアーティストは「日本を助けるために」との掛け声のもと、全員がこのステージに集まった。いずれも台湾と深い関係のあるアーティストばかりだ。ステージの外では、オフィシャルグッズの販売や台湾観光局のブースが設けら



れ、これもまた多くの人が列をなしていた。特にオフィシャルグッズの「赤いバンド」の売上は、その売上が全額東日本大震災の被災者に向けた義援金となることだ。

台湾新聞社ではIT系技術翻訳を承ります
IT Thechnical Transtation
台湾新聞社では大学・研究所などの専門機関出身者でIT関連の技術(ハードウェア/ソフトウェア)の専門家を擁する日本のエキスパート集団と提携し、英語から日本語へのIT系の技術翻訳を専門とするチームを作り上げました。現在台湾の大手IT企業などのPCやPC周辺機器のマニュアルやWebページの日本語訳などを行っています。学術的・専門的で高度な内容の翻訳も可能なばかりでなく、価格も従来の価格以下でスピード感のある仕事をこなします。
◆お問い合わせはこちらへ:
【台湾新聞社】
〒171-0021 東京都豊島区西池袋3-31-5
TEL:03-3987-6379/FAX:03-3590-5798
E-Mail: info@taiwannews.jp
http://taiwannews.jp/
担当: 三田/鏡

フジサンケイビジネスアイ/産経新聞者主催

第8回 日台文化交流青少年スカラシップ 大賞 審査員特別賞 作品

自由と民主主義

中野 友加里 京都大学4年



中野 友加里さん

私は大学で国際政治について学んでおり、また、旅行が大好きでこれまで世界各国を旅してきました。世界各国とはいえ、私は女性で、一人で自由に外出することが好きなものだからあまり危険な国には行きません。となると、旅行先は必然的に治安が良く経済も良好な西側諸国に限られてしまうことがほとんどでした。しかし、一国だけ旧東側の国を旅したことがありました。それは、北京オリンピック直後の中華人民共和国でした。

中華人民共和国(以下、中国)と台湾の間に重大な政治的問題が存在することは世界中の人々にとって周知の事実でしょう。中国が現在のよう強大な軍力および経済力を持つ前は、自由主義のボスであるアメリカにとって日本が東アジアの玄関でしたが、今ではその地位も中国に取って代わられつつあります。日台両国にとって、中国の経済力が非常に魅力的であることは言うまでもないでしょう。

しかし、私たちはここで一旦立ち止まって考えてみる必要があります。中国とはどういう国でしょうか。核保有国であり、強大な軍力を誇り宇宙戦力にも力を入れ始めています。そこまではアメリカも同じですから、問題の本質は党独裁政治がもたらす言論統制等、自由の制限にあるでしょう。私は中国でお世話になった現地の大学生とインターネットを通じて連絡を取り合っていました。最近ではほとんど繋がらない状態が続いています。中国から来た留学生で日本に来て初めて天安門事件を知ったという人を何人も知っています。

外国の友達と連絡を取ることができない、得られる全ての情報は政府にとって都合の悪い事実が抹消された歪曲されたものでしかなく、真実を知ることが不可能である。このような悲しい現実には中国の大衆の多くは気づいていないのではないのでしょうか。

るのは日台および韓国ですが、中でも日台関係というのは特殊なまでに良好であると感じます。日本は過去に台湾を植民地支配し、決して少なくはない台湾人を犠牲にしました。しかし、それでもなお現在のような良好な関係にあるのは、悲惨な歴史よりもずっと多くの共有できるものがあるからだと思います。そしてそれら共有するもの根底にある概念こそ、自由と民主主義といった共通の信念です。

日台ともに中国との経済的なつながりは強固ですが、残念なことにその中国では一党独裁政治がまかり通っており、言論や思想が制限され、自由や民主主義を共有できる相手ではありません。

中国が台頭し世界の注目が東アジアに集まる昨今、日台は協力して自由と民主主義を強調しなければなりません。東アジアに自由と民主主義が存在することを世界中に知らしめ、中国の圧力に負けない自由と民主主義に満ちた世界に変えていくことこそが、これからの国際社会における日台の役割なのです。

日台の歴史を語り継ぐ

志村 貴洋 中央大学3年

2010年、羽田空港の国際線ターミナルが開業し、日本から台湾へのアクセスがさらに便利になった。飛行機で行けば3時間程度で行ける台湾だが、かつて14日もかけて台湾に渡った日本人がいたことは、あまり知られていない。

1949年6月、ある日本人が何と漁船で台湾に向かった。その日本人の名は、根本博である。

根本氏は陸軍大学校を卒業後、陸軍中将、北支那方面軍司令官にまで登りつめた軍人だった。根本中将は「ある決意」を胸に、途中で船が座礁しながらも台湾に渡った。

根本中将の功績の一つに「内蒙古の戦い」がある。この戦いは昭和20年8月20日、つまり終戦後にソ連軍と繰り広げられた戦いである。駐蒙軍を指揮していた根本中将は終戦後、在留邦人を無事祖国に帰還させようとして必死だった。しかし、終戦に伴う武装解除の命令と北方からのソ連軍



志村 貴洋さん

の侵攻は、根本中将の計画を困難なものにさせた。無事に彼らを帰還させるには、ソ連軍と戦わねばならないが、本国からの武装解除命令に背くことは「戦争犯罪」を意味していた。窮地に追い込まれた根本中将の出した答え、それは軍に背きソ連軍と戦うことだった。中将の壮絶な覚悟に部下たちも共鳴し、駐蒙軍は中国の強豪口でソ連軍と死闘を繰り広げた。その戦いで駐蒙軍はソ連軍を退け、4万もの在留邦人が日本へ脱出する突破口を開いたのであった。

邦人脱出を成功させた後、根本中将は蒋介石と会談している。そのとき根本中将は、敗軍の将として死を覚悟していた。しかし蔣はこのとき根本中将の罪を問おうとはしなかった。そして蔣が1943年のカイロ会談で、天皇制のあり方は日本国民が自ら決めることだと発言したことも知り、根本は蔣にいたく恩義を感じていた。その後中国では国共内戦が繰り広げられ、蒋介石率いる国民党は台湾にまで追い込まれた。蒋介石を助けたい、その一心で根本中将は台湾に渡ることを決意したのである。

命懸けで台湾に渡った根本中将に待ち受けていたのは、それは共産軍の猛追だった。国府軍を台湾に後退させた共産軍は、国府軍の壊滅をせんがため、とどめの一撃を企てていた。危機的状況に追い込まれた国府軍に、根本中将はこれまで陸軍で培ってきた経験と戦術を惜しみなく提供した。当時国府軍の総司令を任されていた湯恩伯将軍は、日本人である根本中将のアドバイスを誰よりも尊重した。その結果、台湾の命運が懸けられた金門島での戦いで、国府軍は圧倒的な軍力に有する共産軍を退けた。この戦いの勝利によって、根本中将は蒋介石に対する恩義に報いたのであった。

私はこのエピソードを語る上で懸念したことが

一つある。それは蒋介石の歴史的評価だ。蒋介石の評価には今なお、賛否両論があるだろう。二・二八事件に代表されるように、蒋介石が本省人に対して行った弾圧を私たちは忘れてはならない。しかし同時に、一人の日本人が蒋介石のため、ひいては台湾のために戦ったという事実も語り継ぐべきだと私は考えている。

日本で「歴史を語る」ことについて、私たちは改めて考えるべきではないか。

戦後の日本で語られた歴史は、負の側面ばかりを強調していた。ときには事実を歪曲することさえ厭わなかった。しかし近年、戦前の日本を見直す機運が高まってきている。特に台湾で行われていた植民地政策は、人々の関心を寄せている。八田與一が設計した嘉南大?の功績は、テレビや新聞などのメディアで度々登場する。自虐史観を脱し、歴史上の事実を歪めることなく批評する土壌が、いまの日本に広がっているのだ。

日本にとって台湾とは、歴史を共有できる数少ない国の一つである。根本中将の行動があってこそ、日台の歴史は私たちの世代に継承されたのではないか。根本中将の一生に触れたとき、ふと私はそう思った。

これまでの日本は、過去というベクトルで台湾をみる傾向があった。そのおかげで現在私たちは、歴史を共有し、台湾について知ることができている。しかし今ではそれ以上に、日台の未来について台湾人の同世代と語り合いたいという希望が、私の胸を高鳴らせている。ある日本人と台湾人が協力し難敵を撃破したように、日本と台湾の力を結集すれば世界を変える原動力になるはずだ。

根本中将は日本に帰国する際、蒋介石から花瓶を贈られた。その花瓶は2個1組で、そのうちの1つを根本中将に贈ったのである。そして残されたもう一つの花瓶を、蔣は手元に残したのである。その花瓶は、命を懸けて台湾に渡り、自らの危機を救ってくれた根本中将に対する感謝を表したものだ。蔣が所有していた花瓶は現在、台北の「中正紀念堂」に保管されているという。

これらのエピソードが台湾でどれほど知られているか、私は自分の目で確かめたい。老若男女問わず、あらゆる人に聞いてみたい。台湾の人と歴史を共有し、自分が台湾のためにできることを一つでも多く発見できれば本望だ。そうすれば、日台の未来は必ず開けるにちがいない。

台湾感動100 紀行文 2011

100年目のフォルモサ 台湾を綴る ～紀行文コンテスト

中華民國建国100周年を記念して、紀行文コンテスト「台湾感動100紀行文2011」を開催いたします。素晴らしい島「台湾」(フォルモサ)での感動と思い出や台湾に対する想いを書いてください。入賞作品は台湾新聞、在日台湾政府機関で発表し、印刷物等に活用させていただきます。

応募期間 2011 5.1 ~ 7.30

テーマ 私の輝く思い出・台湾

大賞は10万円の賞金が授けられます。他の賞も豪華な賞品多数

- 主催 台湾新聞社
- 後援 中華民国僑務委員会、台北駐日経済文化代表処、台北駐日経済文化代表処高雄分処、台北駐日経済文化代表処台北分処、台北駐日経済文化代表処基隆分処、台北駐日経済文化代表処新竹分処、台北駐日経済文化代表処台中分処、台北駐日経済文化代表処台南分処、台湾観光協会、中華民國100年 関東地区実行委員会、日本華僑協会、中華民国留日大阪中経協会、日本関西台協協会、チャイナ エアライン、台湾物産館、台湾好き、世界華人工商婦女会協会日本分会、中華民国留日東京同窓会
- 応募作品 テキストファイルで1000文字以内。他に写真および音声による応募は応募できません。
- 応募方法及び注意事項 1.メール添付にて応募ください。 2.応募点数は1人1点まで、作品は未発表のもの。同一または類似作品が他のコンテスト等に応募および発表される予定のないものに限り。 3.受賞者には、9月に行われる予定の表彰式に出席していただきます。
- 受賞および賞金 大賞 (代表賞) 1点 賞金10万円 優等賞 (観光賞) 1点 2泊3日台湾観光券(チャイナエアライン賞) 1点 台湾土産チケット 佳作賞 数点 (予定)
- 賞品 入賞作品は2011年9月の台湾新聞及び台湾新聞ホームページ、他メディアに掲載されます。

お問い合わせ 台湾新聞社 東京都豊島区西池袋3-31-5-8F 電話: 03 (3987) 6379 FAX:03 (3590) 5798 E-Mail: info@taiwannews.jp Web: http://taiwannews.jp/ Blog: http://blog.taiwannews.jp/

台湾感動100 写真大賞 2011

100年目のフォルモサ 感動と思い出が輝くフォトコンテスト

中華民國建国100周年を記念して、写真コンテスト「台湾感動100写真大賞2011」を開催いたします。素晴らしい島「台湾」(フォルモサ)での感動と思い出を撮影した写真をご応募ください。入賞作品は台湾新聞紙及び台湾新聞ホームページ、在日台湾政府機関で発表し、印刷物等に活用させていただきます。

応募期間 2011 5.1 ~ 7.30

テーマ 100年めの素晴らしい島と仲間

大賞は10万円の賞金が授けられます。他の賞も豪華な賞品多数

- 主催 台湾新聞社
- 後援 中華民国僑務委員会、台北駐日経済文化代表処、台北駐日経済文化代表処高雄分処、台北駐日経済文化代表処台北分処、台北駐日経済文化代表処基隆分処、台北駐日経済文化代表処新竹分処、台北駐日経済文化代表処台中分処、台北駐日経済文化代表処台南分処、台湾観光協会、中華民國100年 関東地区実行委員会、日本華僑協会、中華民国留日大阪中経協会、日本関西台協協会、エバー航空、台湾物産館、台湾好き、世界華人工商婦女会協会日本分会、中華民国留日東京同窓会
- 応募作品 デジタルカメラ撮影によるJPG(JPEG)形式。横2000pixel/縦1100pixel以上。容量は30M以下。加工作品は応募できません。(カラー、モノクロ可)
- 審査基準 写真を通じて新しい台湾の魅力を発見できる、「いままでは無い感動」を基準に可能性を広げる作品を評価します。
- 応募方法及び注意事項 1.メール添付にて応募ください。 2.応募点数は1人3点まで、作品は未発表のもの。同一または類似作品が他のコンテスト等に応募および発表される予定のないものに限り。 3.受賞者には、9月に行われる予定の表彰式に出席していただきます。
- 受賞および賞金 大賞 (代表賞) 1点 賞金10万円 優等賞 (観光賞) 1点 2泊3日台湾観光券(チャイナエアライン賞) 1点 台湾土産チケット 佳作賞 数点 (予定)
- 賞品 入賞作品は2011年9月の台湾新聞及び台湾新聞ホームページ、他メディアに掲載されます。

お問い合わせ 台湾新聞社 東京都豊島区西池袋3-31-5-8F 電話: 03 (3987) 6379 FAX:03 (3590) 5798 E-Mail: info@taiwannews.jp Web: http://taiwannews.jp/ Blog: http://blog.taiwannews.jp/



※コンテストの応募につきましては、ホームページ http://taiwannews.jp/ をご覧ください。